

広報



心の通う福祉のまちづくり

社会福祉協議会だより

さつま町のふくし

No.73 社会福祉法人 さつま町社会福祉協議会 令和8年1月発行

発行・編集 さつま町宮之城屋地2117-1(宮之城ひまわり館内) TEL 0996-52-1123 FAX 0996-52-1148

ボランティア活動認定証授与のようす (薩摩小学校)
(令和7年11月28日)



田畠莉奈さん（5年生） 柳田初良さん（5年生） 山下瑛怜菜さん（5年生）

目 次

- 表紙………ボランティア活動認定証授与のようす (薩摩小学校)
2 P………年頭のごあいさつ、さつま町老人福祉センターいぬまき荘からのお知らせ
3 P………赤い羽根共同募金について
4 P………高齢者サロン代表者交流会のようす、地域づくり・支え合いセミナーのようす
5 P………映画「オレンジ・ランプ」無料上映会のお知らせ
6 P………薩摩小学校における福祉体験学習のようす、ボランティア活動保険広告
7 P………香典返し・篤志寄付、災害義援金受付、エコキャップ収集について、車いすの貸出について
8 P………無料法律相談・心配ごと相談、信教寺保育園様寄贈
レクリエーション道具の貸出について、その他

年頭のごあいさつ

社会福祉法人 さつま町社会福祉協議会



会長 大園 良正



新年明けましておめでとうございます。

皆様におかれましては、健やかに新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。

旧年中はさつま町社会福祉協議会の事業や地域活動にコロナ禍以前のような活気が戻り、町民の皆様方にお会いできる機会が増えたことを嬉しく思いますとともに、さつま町社会福祉協議会の円滑な運営と各種事務・事業の推進に、格別のご支援とご協力を賜り、深く感謝とお礼を申し上げます。

昨年は当地においては甚大な事故・災害もなく、平穏に過ごせた一年でしたが、八月に姶良市、霧島市、南さつま市において豪雨災害に見舞われ被災された地域の方々や家族の方々に心からお見舞い申し上げます。

さて、地域福祉を取り巻く情勢は非常に厳しくなってきております。少子高齢化の急速な進展に伴う人口減少、物価高騰などに伴う経済情勢の厳しさ等、地域を取り巻く環境は大きく変化しております。地域福祉に求められるものがますます複雑化していく中、本町では行政をはじめ地区社会福祉協議会並びに民生委員・児童委員や他の社会福祉法人等と連携し、地域の人々が住み慣れた地域で安心して生活ができるように地域包括支援センター事業、福祉給食サービス事業、介護保険事業、日本赤十字・赤い羽根共同募金事業など多くの福祉事業を行っております。

また、昨年九月にさつま町障がい者基幹相談支援センター（子どもから成人で障がいのある方やその家族の困りごとやお悩みなどの相談を受け付け、その解決に向けてアドバスや専門の事業所を紹介または連携してサポートする）が開設されました。

当社会福祉協議会では、子どもから高齢者まで幅広い福祉事業、ボランティア活動など相互援助活動を推進するなど、多様化する福祉ニーズに対応することを心がけております。現在、権利擁護センターによる「さつま町身寄りがなくても安心して暮らすためのガイドライン」を作成中でございます。

本年も各種福祉事業の更なる充実と発展に、役職員一丸となつて務めてまいる所存ですので、皆様方のご理解とご協力を賜りますことを、重ねてお願い申し上げます。

最後に、皆様方のご健勝とご多幸をご祈念申し上げまして、年頭のあいさつとさせていただきます。

【参加者募集】さつま町老人福祉センターいぬまき荘からのお知らせ

〈令和8年度高齢者生きがいづくり健康教室 ※65歳以上〉

内 容：歌、体操、脳トレ、レクリエーション、研修旅行（年1回）等
場 所：鶴田保健センター内

開催日：1組毎月第2水曜日、2組毎月第3水曜日
(※年末・年度末等については、変更になる場合もあります。)

時 間：10:00～14:30

参加費：月500円（※研修旅行時は金額が異なります。）

準備してくるもの：昼食（弁当等）、水筒（水分補給用）等

定 員：各組40名



〈令和8年度高齢者いきがいづくりシルバー園芸教室 ※65歳以上〉

内 容：野菜や花等についての講義や実技、研修旅行（年1回）等
場 所：鶴田保健センター内

開催日：毎月第4火曜日
(※年末・年度末等については、変更になる場合もあります。)

時 間：10:00～12:00

参加費：月1,000円（※教材費等含む。研修旅行時は金額が異なります。）

定 員：40名



■お問い合わせ先

さつま町老人福祉センターいぬまき荘

TEL：(0996) 55-9055 ※月曜日～土曜日（日・祝休み）／8:30～17:00

社会福祉法人 さつま町社会福祉協議会



赤い羽根共同募金 ご協力ありがとうございました



【戸別募金】

公民会・集落における募金

募金額/ ¥3,833,500



【学校募金】

学校における募金

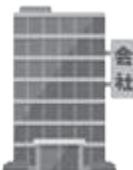
募金額/ ¥80,141



【職域募金】

会社や職場における募金

募金額/ ¥155,754



【イベント・その他募金】

募金箱や寄付における募金

募金額/ ¥176,545



【街頭募金】募金額／¥42,823

令和7年10月27日（月）、薩摩中央高等学校ボランティア部のみなさんと街頭募金を行いました。



募金総額 (令和7年12月26日現在) ¥4,288,763

赤い羽根共同募金とは？

共同募金は、戦後間もない昭和22年（1947）年に、市民が主体の民会運動として始まりました。

当初、戦後復興の一助として、被災した福祉施設を中心に支援が行われ、その後、法律（現在の「社会福祉法」）に基づき、地域福祉の推進のために活用されてきました。

社会の変化の中、共同募金は、誰もが住み慣れた地域で安心して暮らすことができるよう、さまざまな地域福祉の課題解決に取り組む民間団体を応援する、「じぶんの町を良くするしくみ。」として取り組まれています。

共同募金は10月1日から翌3月31日まで

運動は、北海道から沖縄まで全国一斉に行われます。

毎年1回、全国一斉に募金を行うため、厚生労働大臣の告示によって、募金期間が決められています。10月から12月までは一般募金を、12月中は歳末たすけあい募金もあわせて行います。

また、この期間以外でも、様々な寄付金を取り扱っています。

高齢者サロン代表者交流会のようす

令和7年11月19日（水）、サロン代表者交流会を開催しました。

交流会では、生協コープかごしま伊佐センター：芝野様をお招きし、生協コープが行う買い物支援について説明いただき、個配食品の試食もさせていただきました。

また、一般社団法人かごしまメンタルパートナー：榎並様より「こころの健康すごろく体験会」として、すごろくを使って、グループのメンバーとお題に合った話を語り合うことで、自分の気持ちを言葉にして、周りの人に話してみることの大切さを学びました。

最後に、薩摩郡医師会病院総務課：西様より診察・処方内容などの医療や介護に係る情報を本人同意のもと関係機関（病院・薬局・介護事業所等）と共有できる「かごネット」の説明がありました。

地域（公民会）の違う方々でグループを作り、参加者同士で和気あいあいと話ができる良い機会となりました。



地域づくり・支え合いセミナーのようす

令和7年11月21日（土）、地域づくり・支え合いセミナーを開催し、約60名の参加がありました。

今回は、徳島県 特定非営利活動法人「YOU&ゆう」：岡田 あかね様をお招きし、ご講演いただきました。

徳島県の北島町における地域住民の活動や支え合い活動の事例を通して、これからのかつま町での地域づくり・支え合い活動の取り組みについてのヒントや気づきがありました。

参加者の方々のアンケートでは、「地域のつながりを大切したい。」、「助けてあげるのではなく、お互い助け合いましょうの気持ちを実行したい。」などの前向きなご意見をいただきました。



(5)

さつま町のふくし

令和8年1月発行

映画 無料 上映会

日時：2026年1月30日(金)
18:30～20:30(受付・開場 18:00～)
会場：鶴田中央公民館 1階 大ホール

オレンジ・ランプ

貫地谷しほり 和田正人
伊藤光樹 山田雅人 赤間真里子 街井英和 中尾ミエ
監督：三上史歩 全作：脚本：アメルース・山田秀幸 撮影：金沢弘子 色監：宮崎直之
主題歌：THE CHAIN PARK「モグメント」 韻脚：山田秀幸「オレンジ・ランプ」山田秀之助

39歳、パパが認知症!?
どうする、私!!

それは、温かな灯りが紡いだ感動の実話

お申込みは、
電話もしくは二次元コードから
※申込み締切を
1月29日(木)正午
まで延長しました。

QRコード

なお、駐車場に限りがありますので、当日は乗り合わせてのご協力をよろしくお願いします。

さつま町地域包括支援センター 0996-52-4690

主催：さつま町地域包括支援センター さつま町社会福祉協議会 共催：さつま町 宮之城病院認知症疾患医療センター 協力：キャラバンメイト



薩摩小学校における福祉体験学習のようす



令和7年10月29日（水）、薩摩小学校の4年生（11名）のみなさんと福祉体験学習を行いました。



車いす体験



アイマスク体験



高齢者疑似体験

日本国内でのボランティア活動中のケガや賠償責任を補償！！

令和7年度

ボランティア活動保険

商品パンフレットは
コチラから
(ふくしの保険ホームページ)



保険金額・年間保険料（1名あたり）

保険金額引20%適用済／過去の損害率による割増適用

保険金額の種類		プラン	基本プラン	天災・地震補償プラン
ケガの補償	死亡保険金		1,040万円	
	後遺障害保険金		1,040万円(限度額)	
	入院保険金日額		6,500円	
	手術保険金	入院中の手術	65,000円	
		外来の手術	32,500円	
	通院保険金日額		4,000円	
	地震・噴火・津波による死傷	X	O	
の賠償責任	賠償責任保険金 (対人・対物共通)		5億円(限度額)	
	年間保険料	350円	500円	

<重要>

- ◆基本プランでは地震・噴火・津波に起因する死傷は補償されません。
- ◆年度途中でご加入される場合も左記の保険料となります。
- ◆中途脱退による保険料の返金はありません。
- ◆中途でボランティアの入替や、ご加入プランの変更はできません。
- ◆ご加入は、お1人につきいずれかのプラン1口のみとなります。



ボランティア行事用保険

送迎サービス補償

福祉サービス総合補償

（傷害保険、国内旅行傷害保険特約付傷害保険、賠償責任保険）

（傷害保険）

（傷害保険、賠償責任保険、約定履行費用保険（オプション））

●このご案内は概要を説明したものです。詳細は、「ボランティア活動保険パンフレット」にてご確認ください。●

団体契約者　社会福祉法人 全国社会福祉協議会

〈引受け事〉 損害保険ジャパン株式会社 医療・福祉開発部 第二課

〈保険会社〉 TEL:03(3349)5137

受付時間：平日の9:00～17:00（土日・祝日・年末年始を除きます。）

この保険は、全国社会福祉協議会が損害保険会社と一緒にして締結する団体契約です。

取扱代理店 株式会社 福祉保険サービス

〒100-0013 東京都千代田区霞が関3丁目3番2号 新霞が関ビル17F

TEL:03(3581)4667

受付時間：平日の9:30～17:30（土日・祝日・年末年始を除きます。）

（SJ24-1005アより抜粋）

社会福祉協議会では、皆様方よりいただきました寄付を、地域福祉の向上のために活用させていただいております。

皆様の善意に

令和7年11月30日受付分)

香典返し寄付 55件 50万円

寄付者名（住所）故人《敬称略》
（町内は大字、町外は住所地）

災害義援金受付（R7年12月末現在）

〈エコキヤップ収集について〉

さつま町社会福祉協議会（宮之城ひまわり館）では、エコキヤップ収集・売却を行い、収集したエコキヤップをリサイクル（業者）した売利益を「世界のこどもにワクチンを日本委員会」へ寄付しています。

不要なエコキヤップがございましたら、お持ち込みください。

※ペットボトルのふた以外の物や汚れている物は回収できません。選別した物を袋などに入れてご持参ください。



【車いすの貸出について】

さつま町社会福祉協議会では、高齢者や障がいのある方が、一時的に外出及び外泊される際に車いすが必要な場合、おむね1ヶ月間を目安に無料で貸し出しを行っております。

お気軽にご相談ください。

さつま町社会福祉協議会
☎ (0996) 52-1123



○令和7年台風第22号及び23号災害義援金
○令和7年8月6日からの大雨災害義援金
援金（被災地全域）

○令和6年9月能登半島大雨災害義援金
○令和6年能登半島地震災害義援金
○ウクライナ人道危機救援金

○バングラデシュ南部避難民救援金
○中東人道危機救援金

※最新の受付状況については、さつま
町社会福祉協議会のホームページを
ご覧ください。



【無料法律相談】

※事前に予約が必要です。

☎:(0996) 52-1123

相談員：弁護士

場 所：宮之城ひまわり館 相談室

日 時：毎月 第3木曜日（原則）

午後1時30分～午後4時30分

※1件が30分程度のご相談になります。

【心配ごと相談】

※予約は必要ありません。

相談員：さつまくらし・しごと
サポートセンター職員

場 所：宮之城ひまわり館 相談室

日 時：毎週木曜日

午前10時00分～12時00分

信教寺保育園様 勤労感謝の贈り物をありがとうございました。



さつま町社会福祉協議会では、高齢者
ふれあい・いきいきサロン等で活用でき
るレクリエーション道具の貸し出し（無
料）を行っています。ぜひ、ご活用く
ださい。

レクリエーション道具の貸出



社会福祉 法人 さつま町社会福祉協議会
さつま町ボランティアセンター

さつま町社協HP



- | | | |
|------------------------|------------------|--------------------|
| ・事務局（宮之城ひまわり館） | ☎ (0996) 52-1123 | FAX (0996) 52-1148 |
| ・福祉給食センター | ☎ (0996) 52-1191 | |
| ・訪問介護事業所、訪問入浴介護事業所 | ☎ (0996) 21-3603 | FAX (0996) 52-0448 |
| ・障害者訪問介護事業所、障害者訪問入浴事業所 | ☎ (0996) 21-3603 | FAX (0996) 52-0448 |
| ・障がい者基幹相談支援センター | ☎ (0996) 24-5077 | FAX (0996) 52-4691 |
| ・権利擁護センター | ☎ (0996) 52-1865 | |
| ・さつまくらし・しごとサポートセンター | ☎ (0996) 52-2443 | |
| ・地域包括支援センター | ☎ (0996) 52-4690 | FAX (0996) 52-4691 |
| ・老人福祉センターいぬまき荘 | ☎ (0996) 55-9055 | |

この広報誌の発行には赤い羽根共同募金が使われています。

社会福祉法人 さつま町社会福祉協議会